

教養教育共同化のカリキュラム

各科目が、A.幅広い知識の修得、B.多様な人間世界の事象に触れ生き方を感受し思考する、C.真理と正義に係る多面的な議論や論考に習熟する、A、B、Cのどの性格を持つかを示し、科目選択の参考となるようにしています。

科 目 群	科 目 名	開講期	授業目的区分		
			A	B	C
人間と文化 (23科目)	哲学	後	○	○	
	人間学	後	◎	○	
	比較宗教学	前		○	
	宗教学	前	○	◎	
	日本史	後	○		
	東西文化交流史	後	○	○	○
	日本文学Ⅰ	前		○	
	日本文学Ⅱ	後		○	
	西洋文学論	前		○	
	日本近現代文学	前		○	
	文芸創作論	後		○	
	西洋文化論	後	○		○
	ラテン語	後	○	○	
	音楽	前	○	○	
	美と芸術	前	○	○	
	アジアの歴史と文化	前	○		
	京都の文学Ⅰ	前		○	
	京都の文学Ⅱ	後		○	
	京の意匠	後	○	○	○
	京都の歴史Ⅰ	前		○	
	京都の歴史Ⅱ	後		○	
	リベラルアーツ・ゼミナールⅥ (現代イスラーム世界の文化と社会)	集中			○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅦ (感性の実践哲学)	集中			○
人間と社会 (26科目)	政治学	後	○		○
	現代の政治	前	◎		○
	国際政治	後	◎		○
	公共哲学	前		○	○
	経済学入門	後	○		
	生活と経済	後	○		○
	現代日本と経済	前	◎		○
	人文地理学Ⅰ	前	○	○	
	人文地理学Ⅱ	後	○	○	
	現代京都論	前			
	京の産業技術史	前		○	
	京都学事始 —近代京都と三大学—	後			○
	文化社会学	後	○		○
	社会学Ⅰ	前	○	○	○
	社会学Ⅱ	後	○	○	○
	心理学	前	○	○	
	現代社会と心	後	○		○
	現代社会とジェンダー	前		○	○
	現代教育論	前		○	○
	医史学	後	○	○	
	人権教育	前	○		○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅠ (感覚で探る問題解決の方法)	後			○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅡ (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	前		○	◎
	リベラルアーツ・ゼミナールⅢ (社会科学の学び方)	後		○	◎
	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ (現代社会と映画製作)	集中			○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅤ (アメリカと中国はいま)	集中			○

科 目 群	科 目 名	開講期	授業目的区分		
			A	B	C
人間と自然 (19科目)	人と自然と数学 α	前	○	○	○
	人と自然と数学 β	後	○		○
	物理学Ⅰ	前	○		
	人と自然と物理学	後	○		○
	化学概論Ⅰ	前	○		
	化学概論Ⅱ	後	○		
	生物学概論Ⅰ	前	○		
	生物学概論Ⅱ	後	○		
	人類生態学	後	○		
	科学史	後	○	○	
	科学と思想	後	○		○
	地球の科学	後	○		○
	宇宙と地球の科学	後	○		
	エネルギー科学	前			○
	環境問題と持続可能な社会	前	○		○
	キャンパスヘルス概論	前	○	○	○
	食と健康の科学	前			○
	京都の農林業	後	○		
	京都の自然と森林	前	○		
(再掲) リベラルアーツ・ゼミナール (7科目)	リベラルアーツ・ゼミナールⅠ (感覚で探る問題解決の方法)	後		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅡ (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	前		○	◎
	リベラルアーツ・ゼミナールⅢ (社会科学の学び方)	後		○	◎
集中開講	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ (現代社会と映画製作)	集中		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅤ (アメリカと中国はいま)	集中		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅥ (現代イスラーム世界の文化と社会)	集中		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅦ (感性の実践哲学)	集中		○	○
(再掲) 京都学 (10科目)	京都の文学Ⅰ	前		○	
	京都の文学Ⅱ	後		○	
	京の意匠	後	○	○	○
	京都の歴史Ⅰ	前		○	
	京都の歴史Ⅱ	後		○	
	現代京都論	前		○	
	京の産業技術史	前		○	
	京都の農林業	後	○		
	京都の自然と森林	前	○		
	京都学事始 —近代京都と三大学—	後			○

※授業目的区分欄の「○」は、該当するもの、「◎」は特に強調するもの

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」の整備

「時代が求める新たな教養教育」の拠点として、新たな文化・学術・環境を発信する「北山文化環境ゾーン」の一角に教養教育共同化施設「稲盛記念会館」が整備されました。

この施設で、三大学の学生が一堂に会して学ぶとともに、教職員や府民の皆さまとの多様な交流が一層促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることが期待されます。

■「北山文化環境ゾーン」未来図



教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

■「北山文化環境ゾーン」と三大学の位置図



■稲盛記念会館の概要

- ・所 在 地 京都市左京区下鴨半木町1番5
- ・構 造 鉄筋コンクリート造り陸屋根
地下1階 地上3階建て
- ・延床面積 9,088.73㎡

豊富な教養教育が提供できる講義施設(200人規模を最大に17教室)や自習室などの豊かな学修空間が創出されるとともに、府民の皆さまも御利用いただけるレストラン等が整備されています。

この施設の建設には、稲盛和夫様(京セラ株式会社名誉会長)から20億円の御寄附をいただきました。



京都三大学
教養教育研究・推進機構
Institute of Liberal Arts and Sciences

所在地：〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番5
教養教育共同化施設「稲盛記念会館」内

T E L : 075-703-4925 F A X : 075-703-4979
E -mail : kyoyou@kpu.ac.jp U R L : http://kyoto3univ.jp/

文部科学省大学間連携共同教育推進事業

京都三大学 教養教育共同化

京都三大学教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Science

Kyoto Institute of Technology , Kyoto Prefectural University ,

Kyoto Prefectural University of Medicine

時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、それぞれ100年を超える歴史の中で個性ある学風を培い、京都、日本、そして世界で活躍する人材の育成を行ってきました。

京都三大学では、それぞれの教育理念を基本にしながら、3大学が共同することによって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、平成26年度から全国初となる教養教育共同化をスタートしました。共同化によって3大学の学生交流が促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることも期待しています。

